

児童・青少年演劇ジャーナル

げき3

好評
発売中
!

編集・発行＝児童・青少年演劇ジャーナル〈げき〉編集委員会

定価●1200円＋税

児童青少年演劇については、かねてから「批評の不在」が叫ばれ、「情報の偏在」が指摘され、戯曲の発表の場がないことが、問題にされていた。
観客の側からは、児童青少年演劇の世界を、文字情報として総合的に把握する手段がないことが指摘され、創造側からは、より高い創造を目ざすための、研修の手がかりがもとめられていた。
こうした要望に応えるための、新雑誌発刊なのである。——編集代表＝ふじたあさや（創刊号・巻頭言より）

子どもと演劇のよりよい出会いを求めて——

- 演劇鑑賞は子どもの何を育てるの？—演劇鑑賞の意義をさまざまな角度から追及。児童・青少年演劇の歴史・広がりを検証。
- いま、どんな劇を子どもに見せればいいのか？—児童・青少年演劇評、新作紹介、劇団紹介、子どものための劇戯曲掲載。
- 地域の文化活動全体をどう育てたらいいのだろうか？—地域の話、先進的な試み、海外の事例などを紹介。
- 児童・青少年演劇演劇づくりの課題は何だろう？—演劇創造のための誌上ワークショップや提言を掲載。

劇について思う＝今道友信（哲学者）

げき3

目次から

〔インタビュー〕自分史としての児童・青少年演劇3
人形劇ひとすじに……

人形劇団クラルテ・芳川雅勇 さんに聞く

〔初日拝見〕東京芸術座『Challeng・ed』＝瓜生正美

〔劇団訪問〕劇団 コーロ 劇団 道化

「演劇」をどう教えるか？
〔座談会〕「演劇教科書」編集会議録

＝井上ひさし＋木村たかし＋ふじたあさや
（劇作家）（成城学園初等学校）（劇作家・演出家）

〔報告〕〈通年の演劇授業〉に取り組んで＝篠原久美子（日本劇作家協会）

〔特集〕児童・青少年演劇は戦争をどう描いてきたか？

〔資料〕戦後60年！

戦争を描いた児童・青少年演劇作品全リスト

〔分析〕何を描き、何を描かなかったか
＝ふじたあさや

〔脚本〕劇団コーロ上演台本

わいどま、ぎゃあいうとたたききると＝森田 博

〔連載〕誌上ワークショップ3
表現教育の現場から＝西田豊子

〔連載〕他人の禪
劇作なるものをめぐって3＝中村欽一

〔劇評〕児童・青少年演劇の舞台から
安住恭子／七字英輔／岩崎 明／
土居安子／関 明／神沢和明

〔追悼〕筒井敬介さんを偲ぶ
＝神田成子

〔エッセイ〕カーテンコール＝木村 繁

定期購読をお願いします！

年2回発行の本誌を確実にお届けするため
ぜひ、定期購読をお願いいたします。
毎号、刊行次第お届けします。

●本誌「げき」の刊行には、社団法人日本児童演劇協会、日本児童・青少年演劇劇団協同組合（児演協）、全国児童・青少年演劇協議会（全児演）の三団体が協同して取り組みます。●定期購読は下記の児演協事務局へお申し込みください。●本誌の普及にぜひご協力をお願いいたします。ご協力いただける個人・劇団・団体の方はぜひ下記の児演協事務局へご一報をお願いいたします。

●定期購読お申し込み・お問い合わせは児演協事務局へ——

児演協事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6—12—30 芸能花伝舎 2 階
電話 03-5909-3064 FAX03-5909-3065

注文書

●お申込み先は

児演協事務局

FAX03-5909-3065

ご注文	●お申込先 児演協事務局 〒160-0023 新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2-4 FAX03-5909-3065	
冊	児童・青少年演劇ジャーナル げき3	発売・晩成書房 ●定価 1200円＋税
お名前・劇団名	住所	〒□□□-□□□□
劇団の場合 ご担当者名	メール	□□□□@□□□□□□□□
電話	()	
定期購読お申し込み欄	() 定期購読する。次号からも同数購読します。	